



「輪島朝市復興軽トラ市」で販売品を宣伝する視察中の組合員（新城市の中央通り商店街で）

石川県の輪島市朝市組合（富水長穀組合長）が22日、毎月第4日曜に新城市中央通り商店街で開かれる「しんしろ軽トラ市」を視察に訪れた。前日到着した一行14人は、ホテルに宿泊し、この日は朝から出店者の受付、駐車場の様子、準備販売の様子を見学。午前中73店が並びアマチュアバンドやソロ歌手の生歌が流れる会場を視察した。

隔月で開かれている愛知大学三遠南信地域連携研究センターの戸田敏行教授とゼミ生による「輪島

## しんしろ軽トラ市視察 石川県・輪島市朝市組合 取り組みなどで意見交換も

まちなみ情報センターでは意見交換会も開かれた。三輪信之さんや安彦誠一さんから新城軽トラ市の

朝市復興軽トラ市」にも顔を出し、取り組みに感謝していた。また、通りにある17年間の取り組みや裏話・苦労話などが紹介され、朝市組合員からは、朝市との違いなどについて具体的な質問があった。

輪島朝市で海産加工物販売店3代目の富水組合長（56）は「観光に特化した朝市は、高齢化と災害で厳しい状況。ただ、ピンチはチャンスと、前向きに取り組みたい」とし「販売スタイルの違う軽トラ市から多くを学び、タッグを組めることがあれば協力していきたい」と語った。

（夏目聡）